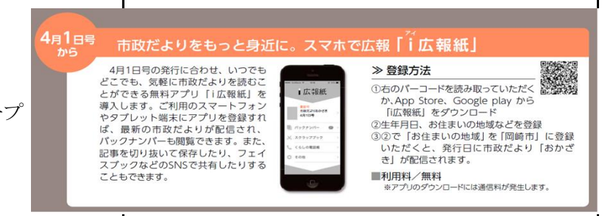
議題２　アプリケーションシステムを活用した情報発信の取組みについて（東海市提出）

資料2

	市名	（１）取組み状況	（２）情報配信している内容	（３）予算額	（４）アプリケーションのダウンロード状況	（５）課題・問題点	（６）委託業者名	（７）その他参考事項
1	名古屋市	①資源・ごみ分別アプリ　実施中（平成27年7月～） ②名古屋市地震防災アプリ　実施中（平成26年3月～）	①【配信内容】分別検索、収集日カレンダー、収集日アラーム機能、資源・ごみ分別ガイド、インフォメーション、クイズ、よくある質問、問合せ先一覧 ①【対応言語】英語・中国語・ハングル・ポルトガル語・スペイン語 ②名古屋市における南海トラフ巨大地震の予測震度、液状化の可能性、津波浸水深、津波浸水開始時間の被害想定、避難所、広域避難場所、一時避難場所、津波避難ビルの避難所情報、土砂災害警戒区域等	①195千円 ②4,725千円	①20,260件（平成28年4月末） ②24,056件（平成28年3月31日時点）	①ベトナム語版配信について要望が多い ②地震に関する情報が主なものとなっており、水防関係についての情報も取り入れてほしいとの要望があり、現在、本市の「水防情報システム」の情報を取り込めるよう調整中。	①株式会社ディライトシステム ②株式会社キャドセンター	①今後対応言語拡充予定（フィリピノ語・ベトナム語） ②左記(5)のとおり、水防関係の機能を取り込む予定。
2	豊橋市	①ホームページはスマートフォン対応済 ②「i広報紙」による広報紙等の発信（i広報紙アプリ） ③「ちいき本棚」による広報紙等の発信（SideBooksアプリ）	①－ ②広報紙、ココニコ通信など ③広報紙、再発見ガイドブックなど	①－ ②－ ③－	①－ ②1408（H28.04.27現在） ③不明	①－ ②多くの方に閲覧していただくこと ③多くの方に閲覧していただくこと	①－ ②株式会社ホープ ③東京エンタープレイ株式会社	①－ ②－ ③－
3	岡崎市	平成27年4月１日号から、広報紙をスマホで閲覧できる民間の無料アプリ「i広報紙」を活用して情報発信をしている。	毎月2回（1日号・15日号）発行の広報紙の全ページ	予算なし	登録者数　約800人（平成28年4月現在）	特になし	株式会社ホープ	
4	一宮市	無料アプリ「i広報紙」を利用して平成27年4月から広報紙「広報一宮」と　平成28年8月から広報号外「健康ひろば」を配信している。	広報紙「広報一宮」および広報号外「健康ひろば」（健康診査の日程のほか、予防接種や健康の増進に役立つ情報を掲載）	なし	平成28年4月1日現在　1,429件	特になし	株式会社ホープ　福岡市中央区薬院1－14－5（自治体向けに特化した広告代理店）	特になし
5	瀬戸市	今年度から地域課題の解決や市民生活の向上を目的に、市民参加型でアプリケーションの開発に取り組んでいる。また、ホームページレイアウトについてもスマートフォン対応に修正を進めている。	市民生活に密着した情報（子育て情報、せとの文化財等）を対象に計画している。	13,000千円		開発業務にあたっての課題として投稿情報の取り扱いや庁内の連携体制構築等がある。	未定	子どもの予防接種の自動スケジュール作成及び変更機能を持ち、日程に従ってメールを配信するサービスを今年5月2日から開始した。 また、民間事業者の開発したアプリケーションを利用し、緊急情報等のメール等を行っている。
6	半田市	情報発信として利用しているスマートフォンアプリも存在する手段は次のとおりです。 (a)i広報紙 (b)Facebook (c)Twitter	(a)市報 (b)観光情報、新美南吉記念館施設イベント情報、職員採用情報 (c)災害・防災情報	(a)～(c)予算なし	(a)～(c)サービスのみの利用のため、詳細不明。	特に問題、課題はない。	(a)株式会社ホープ (b)Facebook (c)Twitter	市ホームページは、平成25年10月にCMSを更新し、スマートフォンにも自動対応したホームページとしている。
7	春日井市	現在、実施はしていない。						
8	豊川市	①i広報紙（平成27年4月1日から） ②Aurasma（平成27年4月1日から）	①毎月発行の広報紙全ページ ②広報紙掲載記事に関連した動画（担当課で編集）	①なし（アプリの無償サービスを使用） ②なし（無償のアプリを使用）	①499件（平成28年4月末現在） ②不明	①ユーザーの拡充 ②ユーザーの拡充、利用状況の把握、仕様の変更やバージョンアップなどへの対応（ダウンロード方法の変更など）	①株式会社ホープ（福岡県） ②Aurasma（アメリカ）	特になし
9	津島市	i広報紙、フェイスブック（産業振興課、市民協働課）	i広報紙（広報紙、ガイドブック）、フェイスブック（市民協働活動、まつり、イベント）	0円	i広報紙（平成28年3月から5月　109件）	若い世代ほど行政情報アプリを利用していない。	株式会社ホープ（i広報紙）	
10	碧南市	ｉ広報紙を活用している。	広報へきなん、議会だより	0円	222件（平成28年4月末時点）	なし	株式会社ホープ	なし

	市名	（１）取組み状況	（２）情報配信している内容	（３）予算額	（４）アプリケーションのダウンロード状況	（５）課題・問題点	（６）委託業者名	（７）その他参考事項
11	刈谷市	①「ｉ広報紙」（Android及びｉOS） ②「AURASMA」（Android及びｉOS） ※いずれも汎用アプリケーション	①広報紙（PDFデータ）を配信 ②AR技術を活用し、3D化したマスコットキャラクターを配信	なし	①約500件（登録者数） ②不明	特になし	①㈱ホープ ②なし	市ホームページはCMSにより全ページがスマートフォン対応済み
12	豊田市	本市では以下の2つについてアプリケーションシステムを活用した情報発信を行っている ①移動支援ポータルサイト「みちナビとよた」アプリ版 ②資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」	①移動支援ポータルサイト「みちナビとよた」アプリ版 ・豊田市の公共交通機関の乗り換え情報や運行情報 ・豊田市の防災・災害に関する情報へのリンク及び、「緊急メールとよた」の情報 ②資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」 資源・ごみの分け方・出し方に関すること （日本語版、英語版、ポルトガル語版／H28予定 スペイン語版、中国語版） ・詳しい分け方や出し方 ・品目別の出し方一覧（50音順別） ・収集日カレンダー ・アラーム通知 ・関係施設等一覧（マップ） など	①移動支援ポータルサイト「みちナビとよた」アプリ版 8,115,465円／年 (WEB版管理費等含む) ②資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」 234,000円／年	①移動支援ポータルサイト「みちナビとよた」アプリ版 8,086人（平成28年3月31日現在） ②資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」 5,355人（平成28年4月30日現在） ※（平成27年7月24日配信開始）	①移動支援ポータルサイト「みちナビとよた」アプリ版 ・検索処理速度の高速化 ・検索結果の最適化(目的地までの最短・最安ルートの表示) ②資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」 ・外国語の入力（翻訳）作業の負担 ・利用者からの評価は高いが、直接的なごみ出しマナーの向上や減量に関する効果の把握が困難	①移動支援ポータルサイト「みちナビとよた」アプリ版 株式会社フォアフロントテクノロジー ②資源・ごみ分別アプリ「さんあ～る」 （株)ディライトシステム	平成27年7月に市ホームページをリニューアルし、全ページスマートフォンに対応した画面表示とした。
13	安城市	アプリケーションシステムを活用した情報発信は行っていない						市ホームページのスマートフォン対応改修を本年度実施予定
14	西尾市	平成28年度中に市ホームページのスマートフォン対応を含め、ウェブサイトの機能改善を行う予定	検討中	2,938千円	―	―	㈱内田洋行（予定）	―
15	蒲郡市	平成28年3月25日　スマートフォンアプリ「ときめきがまごおり」リニューアル	シティプロモーションを目的とした観光情報発信	1，998，000円（27年度）	500件	今後発生するモバイルOSのバージョンアップに伴うアプリの改修対応について	株式会社ティーブイエスネクスト	
16	犬山市	①安心情報メールの業務委託をしているバイザー株式会社が管理する無料アプリ「アストモ」を活用。業者に情報提供し、登録してもらうことでユーザーから閲覧可能 ②　①と同様に、「ポストモ」というアプリについても、情報提供を検討中 ③「犬山たび」（制作　犬山市文化遺産活用実行委員会）	①市の行政情報、イベント情報など ②市がEメールを通じて発信している「安心情報メール、防災情報メール」の本文 ③市内の「犬山地区」、「羽黒地区」、「栗栖地区」の文化遺産を巡るルート案内、スタンプラリー機能、周辺の文化遺産の検索が可能。	①無償 ②無償 ③文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業補助金（100%補助）」の活用 H25：7,350,000円 H27：3,780,000円 H28：5,783,400円	①1,000回以上（Google Play上のカウント） ②10回以上（Google Play上のカウント） ③10回以上（Google Play上のカウント）	①とくになし ②とくになし ③アプリケーション開発後のサーバー管理料、OS更新に伴うアプリケーションのマイナーバージョンアップ等、ランニングコストがかかる。	①バイザー株式会社 ②バイザー株式会社 ③ナカシャクリエイテブ株式会社	③平成28年度に「楽田地区」、「城東地区」、「池野・今井地区」を追加予定。 ※H28年度より、（仮）東之宮古墳AR史跡システムを開発する予定。これまでの発掘調査の結果をもとに、データベースを構築し、AR機能によって表現する。
17	常滑市	株式会社ホープ(福岡市中央区）の企画・運営する広報紙配信アプリ「i広報紙」を使用して広報紙を配信	広報紙（広報とこなめ、とこなめ市議会だより）の配信	0円	約11万3，000件	利用者数の拡大	株式会社ホープ(福岡市中央区）	特に無し
18	江南市	市のホームページについては、スマートフォンに対応した画面表示になっていない。 アプリケーションシステムを活用した情報発信としては、「i広報紙」「アストモ」等のスマートフォンアプリケーションを利用している。	・i広報紙…広報紙の配信 ・アストモ…イベントのチラシ掲載	平成28年度予算計上はなし。	・i広報紙…株式会社ホープ提供。平成28年4月1日現在、10万ダウンロード以上。アプリ内で「江南市」を登録しているユーザーは平成28年5月6日時点で358ユーザー。 ・アストモ…株式会社バイザー提供。ダウンロード数不明。	各アプリの利用ユーザー数の伸び悩み。また、アプリ利用による情報伝達効果測定が難しい。	・i広報紙…株式会社ホープ提供。 ・アストモ…株式会社バイザー提供。	アプリ「Layer」でARを利用した江南市マスコットキャラクター「藤花ちゃん」との写真撮影を出来るようにしている。

	市名	（１）取組み状況	（２）情報配信している内容	（３）予算額	（４）アプリケーションのダウンロード状況	（５）課題・問題点	（６）委託業者名	（７）その他参考事項
19	小牧市	①平成28年度、スマートフォン用ウォーキングアプリを導入予定。 ②ごみ分別アプリの配信	①楽しく継続してウォーキングに取り組める仕組みを検討している。 ②ごみ収集日のお知らせ機能（アラーム）、1770品目の分別早見表、ごみの分別方法のマニュアル、よくある質問集の掲載	①開発等業務委託：9,500千円 保守管理委託：1,296千円 ②無償	①― ②平成28年5月1日より配信開始。5月9日現在、500件を越えるダウンロード数。	①― ②アプリの周知を行い、ユーザー数を拡大すること。 日本語版のみの配信であるため、外国籍の方に対応できていない。	①― ②リネットジャパン	①― ②リネットジャパン㈱と本市は小型家電（PC）の宅配回収について、協定を結んでいる。 開発や情報入力を共同で行うことや、配信後の管理を市が行うことにより、開発費・運用費を無償とすることができた。次年度以降の費用については未定。 ①②平成24年9月のリニューアル時に、ホームページを全面スマートフォン対応とした。以降、スマートフォンでの閲覧者は増加の一途をたどっている。 【参考値】 スマートフォンでの閲覧者割合 17.1%（H24.9月）⇒54.9%（H28.3月現在）
20	稲沢市	取り組んでいません						
21	新城市	市単独で特定情報発信のために、アプリ開発している取組はありません。	市単独でアプリ開発している取組がないので、実績はありません。	市単独でアプリ開発している取組がないので、予算はありません。	市単独でアプリ開発している取組がないので、実績はありません。	市単独でアプリ開発している取組がないので、該当はありません。	市単独でアプリ開発している取組がないので、該当はありません。	特に該当はありません。
22	東海市	28年度に新たに取り組むもので、10月からの運用開始を予定	イベント情報及びごみに関する情報、避難所情報を配信する予定	計450千円(税込) 【内訳】開発委託料216，000円、使用料226，800円(6月分)				
23	大府市	JR大府駅からあいち健康プラザを経由し尾張森岡駅までのウォーキングロード、及び大府市・東浦町内のウォーキングコースの紹介	JR大府駅からあいち健康プラザを経由し尾張森岡駅までのウォーキングロードでは、ウェルネスバレー構想の紹介のほか、正しいウォーキング・コグニサイズを動画で紹介	平成28年度予算：103,000円(サーバレンタル)	Android、iOSとも公開が始まったところで、ダウンロード数は不明	ダウンロード数、コース走破者数を増やしていくことが課題	株式会社SMB（東浦町内企業）	大府・東浦の史跡や飲食店紹介のリンクを設定するとともに、ゴール後は距離・消費カロリーを表示し、健康ポイントを付与できる仕組みあり。また、職員で新規コースを追加可能
24	知多市	i広報紙を利用中	広報ちたの配信	0円	アプリケーションのダウンロード状況は不明、なお登録ユーザー件数としては、約11万5千件　（株式会社ホープの回答による）	①i広報紙のサーバやシステムに障害が起こると閲覧ができなくなる。 ②株式会社ホープの側で契約した広告を、2，3，6，7，10，11ページに入れることができるという取り決めになっているが、複数ページに渡る特集記事の場合に、広告ページによってそれが分断されてしまう。 ③細かい利用状況のデータを市が利用するためには費用がかかる。	株式会社ホープ	愛知県内では豊橋市と東浦町が導入している「SideBooks」の「ちいき本棚」を利用しての広報、市議会だより、観光ガイド、生涯学習ガイドの公開を検討中。 ちいき本棚は、広告が入らないことと、県ごとのフォルダーの中に市ごとのフォルダーができるので、市が公開している冊子がまとまっていることが良い点。
25	知立市	平成28年2月に市ホームページをリニューアルし、スマートフォン・タブレット端末へ対応しておりますが、当市ではアプリケーションシステムを活用した情報発信は現在行っておらず、予定もございません。						
26	尾張旭市	広報誌閲覧用アプリを平成27年5月15日号から配信	広報誌データ	なし （広報印刷業務委託内のサービスとして、委託業者の関連企業と協定を締結し、作成・配信しているため、個別に費用負担はない）	平成28年3月31日時点ダウンロード数 AppStore／370件、 GooglePlay／200件　合計570件	広報印刷業務委託業者が変更となるとアプリが利用不可、もしくは費用負担が発生すること	株式会社ワイプ （広報印刷業務委託業者「株式会社山内印刷」の関連企業）	・記事内の指定した箇所からホームページなどへリンクできる機能あり ・㈱ホープが提供するアプリ「i広報紙」でも広報誌データを配信 ・別紙1の参考に記載されている課題などは、現時点ではない ・アプリ化などはしていないが、市ホームページも全ページスマホ対応済み（費用負担なし）
27	高浜市	・「i広報紙」による広報たかはま等の一部の配信 ・「アストモ」を活用したイベントチラシ等の情報発信	・広報たかはまの一部（表紙、児童センターの行事、毎月の行事カレンダー、保健ガイド、休日当番医、催し・募集など） ・市からのお知らせ（町内会PR、各種手続きなど）※広報発行のタイミングにあわせて掲載 ・議会情報誌「ぴいぷる」　など	予算計上なし	―	市が許可していない広告が掲載されていること		

	市名	（１）取組み状況	（２）情報配信している内容	（３）予算額	（４）アプリケーションのダウンロード状況	（５）課題・問題点	（６）委託業者名	（７）その他参考事項
28	岩倉市	観光ガイドアプリ「い～わいわくら観光なび」を平成25年度に開発し、情報を発信している。	見どころ、グルメ情報などを詰め込んだ電子書籍「岩倉読本」、観光スポットを検索する「いわくらめぐり」、様々なポーズのい～わくんと写真撮影ができる「い～わくんカメラ」の3つの機能を提供している。	作成時・・・8,283,000円（緊急雇用創出事業費補助金を活用） 保守点検・・・216,000円／年	累計　767件（平成28年3月末現在）	アプリの保守点検が毎年必要なこと、また、スマートフォンのOSの更新による最適化などが随時必要となってくること。	株式会社エスワイシステム	・「i広報紙」「アストモ」等のアプリにも登録し、手軽に広報を読むことができるようにしている。 ・現在のホームページはスマートフォンに対応していないが、スマートフォンの普及率や情報取得の容易さなどに鑑み、平成28年度実施するリニューアルで対応する予定。
29	豊明市	平成28年3月にスマートフォンアプリ「i広報紙」を導入するため、広告代理店と協定を締結し、平成28年4月号より「i広報紙」を配信している。	毎月発行している広報紙「広報とよあけ」・イベント情報	0円	79件（平成28年4月26日現在）	「i広報紙」の周知と登録者数の増加が課題	株式会社ホープ（協定業者）	ホームページについては今年度CMSを導入する予定であり、CMSの導入でスマートフォン対応をしていきたい。
30	日進市	㈱ホープが提供しているスマホアプリ「i広報紙」を導入しています。	広報にっしん（毎月）、ごみの出し方パンフレット（毎年）、健診案内（毎年）、ウォーキングマップ（随時）を閲覧可能にしています。	0円	265人の登録	現在無料で運用できますが、現事業者のサービスが有料となると新たに予算が必要となり、費用対効果を考えたときに、市として継続して行っていくことができるのかという懸念があります。	㈱ホープ（アプリ提供元）	
31	田原市	i広報紙	広報紙（広報たはら）	なし	83（平成28年4月21日現在）	サービスを開始したことを広報紙やホームページで周知しているが、アプリのダウンロード数が少ないこと	株式会社ホープ（覚書締結先）	特になし
32	愛西市	アプリケーションシステムを活用した情報発信の取り組みはありません						
33	清須市	「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業（地方創生型）」国庫支出金を活用して、子育て情報発信アプリ「キヨスマ」を平成28年3月に作成。	①子育て支援センター、児童館、保育園、幼稚園等で開催するイベント情報（月1～2回） ②市民が自主的に実施する子育てサロン等の情報（社会福祉協議会） ③医療機関や子育て支援施設、公園等の情報 ④保護者の視点に立った情報をカテゴリーで検索できる機能（妊娠からの子育て情報・イベント情報・お出かけ情報・各種手続き・困ったときは・外国語変換） ⑤子育て日記（利用者が子どもの身長、体重、写真、日記等を記録することができ、また、健診や予防接種の日程管理と予定日のお知らせができる）	業務委託（平成27年度）　6,750,000円（国庫補助10/10）	ダウンロード件数　888件（平成28年3月1日～5月11日）	庁内外の関係者と定期的に連携し、最新情報を適宜更新する必要がある。 商工会関係に子育てにやさしい店舗等の募集をしたが掲載できていない。	株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所	平成28年度以降、保守運用業務で年額　670,000円が必要。
34	北名古屋市	平成26年12月にHPをリニューアルし、スマートフォンからのアクセスにも対応したHPとなった。 また、平成27年1月からは株式会社HOPE（ホープ）が手掛けるアプリ「i広報紙」を利用して、市の広報紙を配信している。	HP：市のあらゆる情報 「i広報紙」：市の広報紙を配信	HP：年間約200万円 「i広報紙」：無料（㈱HOPEが広告収入でまかなう仕組みのため）	「i広報紙」：平成28年4月現在　0.24%　202人	「i広報紙」：広報紙（冊子）に掲載するなど情報発信はしているが、アプリのダウンロード率は伸び悩んでいる。	HP：株式会社インターネット尾張 「i広報紙」：株式会社HOPE	特になし
35	弥富市	ｉ広報誌	広報誌PDF	なし	88	特になし	株式会社ホープ	平成27年9月より利用
36	みよし市	市のトップページのみスマートフォン対応						今後、CMSの契約更新時（平成31年3月）に対応するかどうかを検討中。
37	あま市	未実施						
38	長久手市	広報誌の配信アプリケーション	広報誌の配信を行う	原稿広報誌印刷業者のサービスの範囲内で運用	1170（平成28年5月10日時点）	特になし	(株)山内印刷	